

授業科目名	人間教育学ゼミナールⅡ（応用）（2100310）		
時間割名	人間教育学ゼミナールⅡ（応用）（15110）		
時間割担当	松田智子		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	月・5		

■授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

■学習の到達目標

社会人としての常識や教職に就くものとしての、2000字程度のレポートや報告書を書くことができる。
収集した情報に基づいて、根拠を計画にして討議し、論理的な話し方を身に着ける。

■授業方法・形式

- ・自分が見つめてきた興味ある課題について、レポートを配布しお互いの意見を交流する。
- ・交流の後、自分の意見を根拠を明確にして2000字程度のレポートにまとめる

■授業計画

1. オリエンテーション
2. 現代的な教育課題について毎時間3人がレポート提案し意見交流する①
3. 現代的な教育課題について毎時間3人がレポート提案し意見交流する②
4. 現代的な教育課題について毎時間3人がレポート提案し意見交流する③
5. 前回3回で与えられた課題の中から、一番興味がある課題について1000字の論文を書く①
6. 前回3回で与えられた課題の中から、一番興味がある課題について1000字の論文を書く②
7. 1000字論文を輪読し、最初のテーマ提案者が評価する①
8. 1000字論文を輪読し、最初のテーマ提案者が評価する②
9. 卒業論文のテーマとなる内容と方法を各自が提案して、相互に意見をもらう①
10. 卒業論文のテーマとなる内容と方法を各自が提案して、相互に意見をもらう②
11. 卒業論文のテーマとなる内容と方法を各自が提案して、相互に意見をもらう③
12. 卒論のテーマについての情報収集のと進捗状況の報告①
13. 卒論のテーマについての情報収集のと進捗状況の報告②
14. 卒論のテーマについての情報収集のと進捗状況の報告③
15. 中間の報告会①
16. 中間の報告会②
17. 各自のテーマと人間関係の構築との関係を検証する①
18. 各自のテーマと人間関係の構築との関係を検証する②
19. 各自のテーマと人間関係の構築との関係を検証する③
20. テーマとゼミの課題との関係のずれを修正する①
21. テーマとゼミの課題との関係のずれを修正する②
22. テーマとゼミの課題との関係のずれを修正する③
23. 各自の論文が人間教育学のどこに位置づいているかを話し合う①
24. 各自の論文が人間教育学のどこに位置づいているかを話し合う②
25. 各自の論文が人間教育学のどこに位置づいているかを話し合う③
26. 各自の論文が人間教育学のどこに位置づいているかを話し合う（まとめ）
27. 人間教育学とは何かをまとめる
28. 最終の論文発表と意見交流①
29. 最終の論文発表と意見交流②
30. まとめ

■成績評価の基準

- ・毎回のレポートや振り返りと参加態度

■準備学習・復習及び授

- ・前の授業で指定する

■履修上のアドバイス及

- ・自分の意見を根拠に基づいて論理的に話し書くことが社会人の基礎である
- ・人間教育学とは教育問題だけではなく、生き方の問題であると認識すること

■教材・教科書

- ・授業の中で指定する

■参考書

- ・授業の中で指定する